

網津公民館だより

令和6年
10月号

秋の涼しさを感じる季節となりました。公民館だより10月号をお届けします。

＜第3回生涯学習講座：俳句を楽しむ会＞

8月21日（水）開催

第3回生涯学習講座「俳句を楽しむ会」は8月21日（水）10時から新規参加者2名を含む8名で開催されました。今回の兼題は「お盆」、講師も含めた作品を各自読み上げ、作った動機・情景・場所を発表しました。主だった作品は「ヌイグルミ だれ連れていく 夏の旅」「亡き父母の 思い出浮かぶ お盆の日」「母の手は いくつになっても 思い出し」「タカラズカ 蝶が舞来て 蜜を吸う」「盆踊り 踊ったむかし もう来ない」などでした。

今回の講座の中で一番盛り上がったのは「盂蘭盆会（うらぼんえ） キュウリの馬 ナスの牛」でした。亡くなった愛する人がお盆で帰ってくるときは、キュウリに箸で馬のように早く、帰るときはナスに箸で牛のようにゆっくり。愛する人と少しでも長く一緒にいたいという心情を表現した俳句でした。

いつものように、和気あいあいの1時間半はあっという間にすぎ、また来月が楽しみとの声が溢れました。



＜第2回青空教室：環境学習とり・グラスアート＞

9月14日（土）開催

第2回青空教室「環境学習とり・グラスアート」は、申込み10名中7名の参加で始まりました。講師は熊本県環境センターの松下指導員。親しみやすい語り口で、環境学習から始まりました。

地球上には一千万以上の動植物が存在する。スマトラトラは、現在300頭くらいしか生息していないが、乱獲により絶滅の危機に瀕している。熱帯雨林も伐採により地球温暖化に拍車をかけている。

プラスチックゴミの海洋汚染問題については、「身近に出来るのはごみのポイ捨てをせすリサイクルをすることが一番大事」など基本的なことを分かりやすく解説して頂きました。

松下指導員の「すべての問題の原因を作っているのは我々人間です」との言葉がズッシリと心に響きました。

この後、リ・グラスアート作りが始まりました。アンパンマン・トトロなど好きな下絵を選び、下絵を板に鉛筆でなぞり写し取ります。板に残った緑どりの線を目安に、ボンドを付け13個の容器に入った着色されたカレット（ガラスやセラミックを細かく砕いたもの）をまぶしてグラスアートの完成です。

子供たちからは「楽しい。またやりたい。」などの声が溢れました。最後に作った作品を胸に抱いて記念写真を取り、第2回青空教室は無事終了しました。



＜第4回生涯学習講座：俳句を楽しむ会＞

9月11日（水）開催

第4回生涯学習講座「俳句を楽しむ会」は9月11日（水）10時から7名の参加で開催されました。今回の兼題は「秋」、持ち寄られた作品34句を各自読み上げ、作った動機・情景・場所を発表しました。主だった作品は「みつを吸う 蝶 乱れ舞 秋の庭」「ピツリ 栗スイカ届き なるほどね」「無花果の蟻蟻いっつ ざルに入れ」「虫の声 聞こえぬ夫に 声かける」「血が騒ぐ ポシタ祭りの か け声よ」「秋祭り ラッパの音と 肩車」など。

今回話題を集めた句は「行き合いの 空にすじ雲 うろこ雲」でした。「行き合い」とは、去りゆく夏と近づいてきた秋が出合い、溶け合っていく様を現す言葉という説明を受け、皆納得の表情でした。

もう一つ、「萌の里 コスモス咲いて 父偲ぶ」も注目を集めました。作者の亡くなった父と最後に訪れた「萌の里」。情景を説明する作者が、感極まる姿に我々の胸も打ち震えました。



☆10月の予定☆

第4回成人講座：熊本地震震災ミュージアム研修視察 講師＝ミュージアム語り部ガイド（10月5日）

第5回生涯学習講座：俳句を楽しむ会 講師＝伊勢 聡さん（10月9日）

第3回青空教室：ふれあいランドゴルフ 講師＝河野 次雄さん（10月12日）

第5回成人講座：交通防犯教室 講師＝市環境交通課職員・宇城警察署生活安全課職員（10月19日）

＜館長からのメッセージ＞

先日、知人の葬儀で初めての経験をしました。斎場に入って流れてきたのは三波春夫の「俵屋玄蕃」の曲。故人は103歳で往生を遂げられた男性で大正から令和まで4つの年号を生き抜かれました。趣味はカラオケでNHKのど自慢にも出場経験がある方でした。葬儀の最後は、なんと96歳の時に自身が歌った「天野屋利兵衛は男でござる」の肉声テープが斎場を包みました。朗々とした歌声。最後のナレーションは「皆様、盛大な拍手で故人をお見送り下さい」鳴りやまない拍手。素敵なお葬式と思いませんか？ 終活について考えさせられた一日でした。